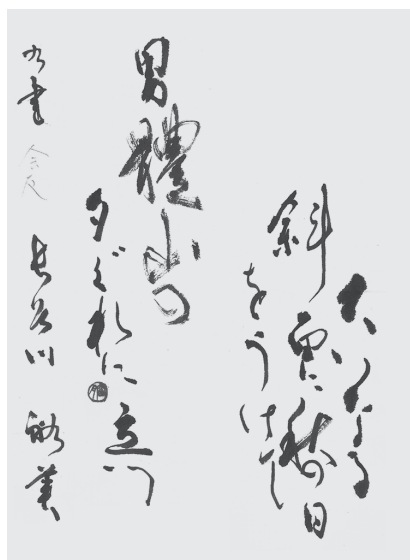


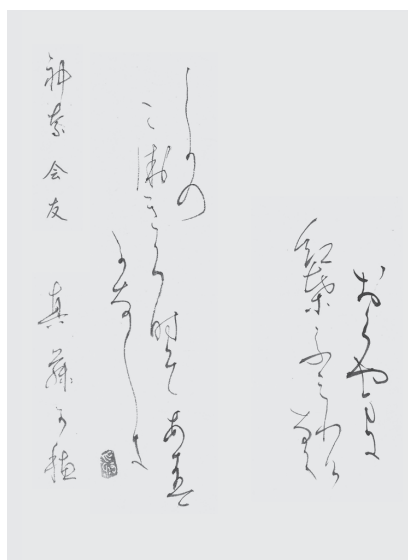
今月の最優秀作品

【新和様半紙】



九書 長谷川裕美 二群の構成が良く、余白が美しい。潤渇がきいて穏やかな運筆も見事。風景を見るがごとき雄大な作品となった。
(審査評 吉家 桂雪)

【かな半紙】



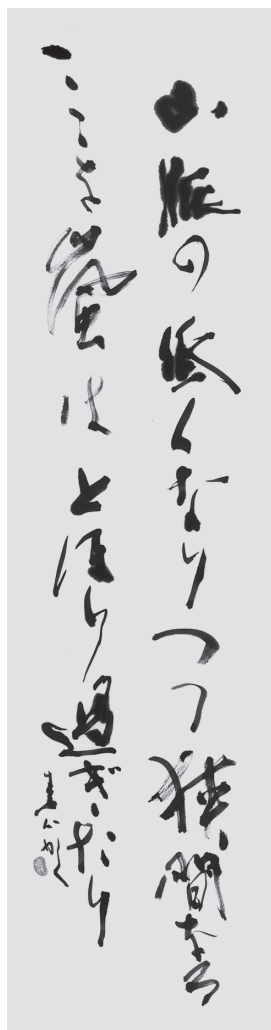
神奈 真藤 可穂 呼吸にのせた遅速緩急のリズムが聞こえる。留意されている潤渇は、墨をもっと濃くされると一層強さを増して表れる。
(審査評 西口 貴翠)

【漢字半紙】



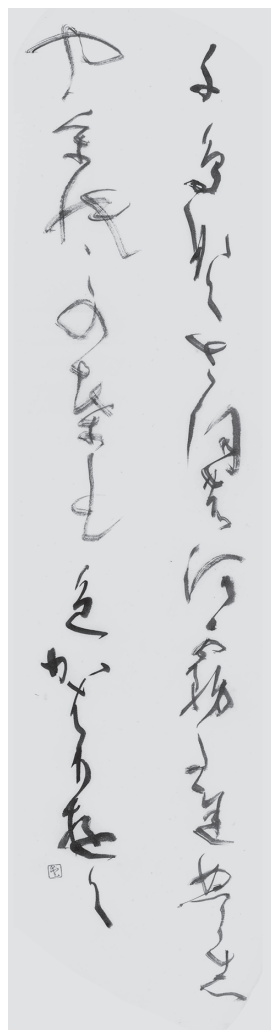
墨香 五月女恵子 新年の幕明けを飾るに相応しく、天馬が空を行くが如く自由奔放で筆勢豊か。潤渇肥瘦も調和し熟達した会心作。
(審査評 池田 知之)

【新和様条幅】



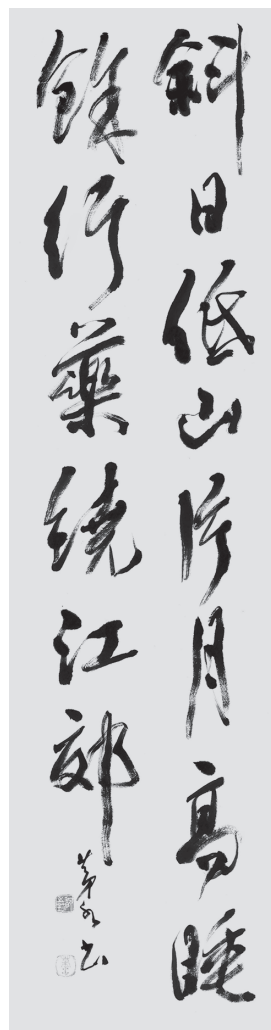
采女 熊野 素心 濃淡、潤渇、広狭の変化あり。闊達な運筆で行の流れを出し、余白がいきで、美しいハーモニーを感じさせる作。
(審査評 東仲 遙邨)

【かな条幅】



祥瑞 河野 愛子 疎密の作り方に長け、作品構成が巧み。気脈が通った行の自然な動きが美しく、少し濃い結句が全体を引き締めた。
(審査評 川島 史子)

【漢字条幅】



松 角田 茅水 濃墨が重くならないように、渇筆と細線を駆使した強さを秘めた軽快な作品。品格のある落款も見逃せない。
(審査評 永井 香樹)

12月提出の競書の写真版全作品は、12月18日(木)より本会ホームページに掲載いたします。

水並白
於雪
郁野 六段 野真希

水並白
於雪
関根朋美

水並白
於雪
水並 八段 達藤紀子

水並白
於雪
百官 外山 善也

水並白
於雪
豊里 全段 中島勇也

水並白
於雪
新美 六段 巖本美恵子

水並白
於雪
沙路 六段 島本美恵子

水並白
於雪
羽宮子 藤井顯子

水並白
於雪
書學 小島 善也

水並白
於雪
永島 全段 井澤 江里

同會
於海
土筆 五段 奥崎 和江

水並白
於雪
張浦 六段 渡辺 桂華

水並白
於雪
土筆 七段 海老知 恵美子

水並白
於雪
何賀 八段 菅田 靖子

水並白
於雪
中山 五段 土居 美保

同會
於海
意那 官鳩 美登

水並白
於雪
吉田 五段 藤原 力也

水並白
於雪
郁翠 七段 小林 昌子

水並白
於雪
青宮 八段 久米 寿美

水並白
於雪
島田 五段 全段 西村 海峰

同會
於海
紅妙 五段 渡部 瑠花

水並白
於雪
書學 六段 吉村 丘美

水並白
於雪
書學 七段 海老原 青桃

水並白
於雪
神戶 八段 嶋瀧 悠華

水並白
於雪
頭塚 五段 小寺 幸子

同會
於海
水並 五段 三浦 幸子

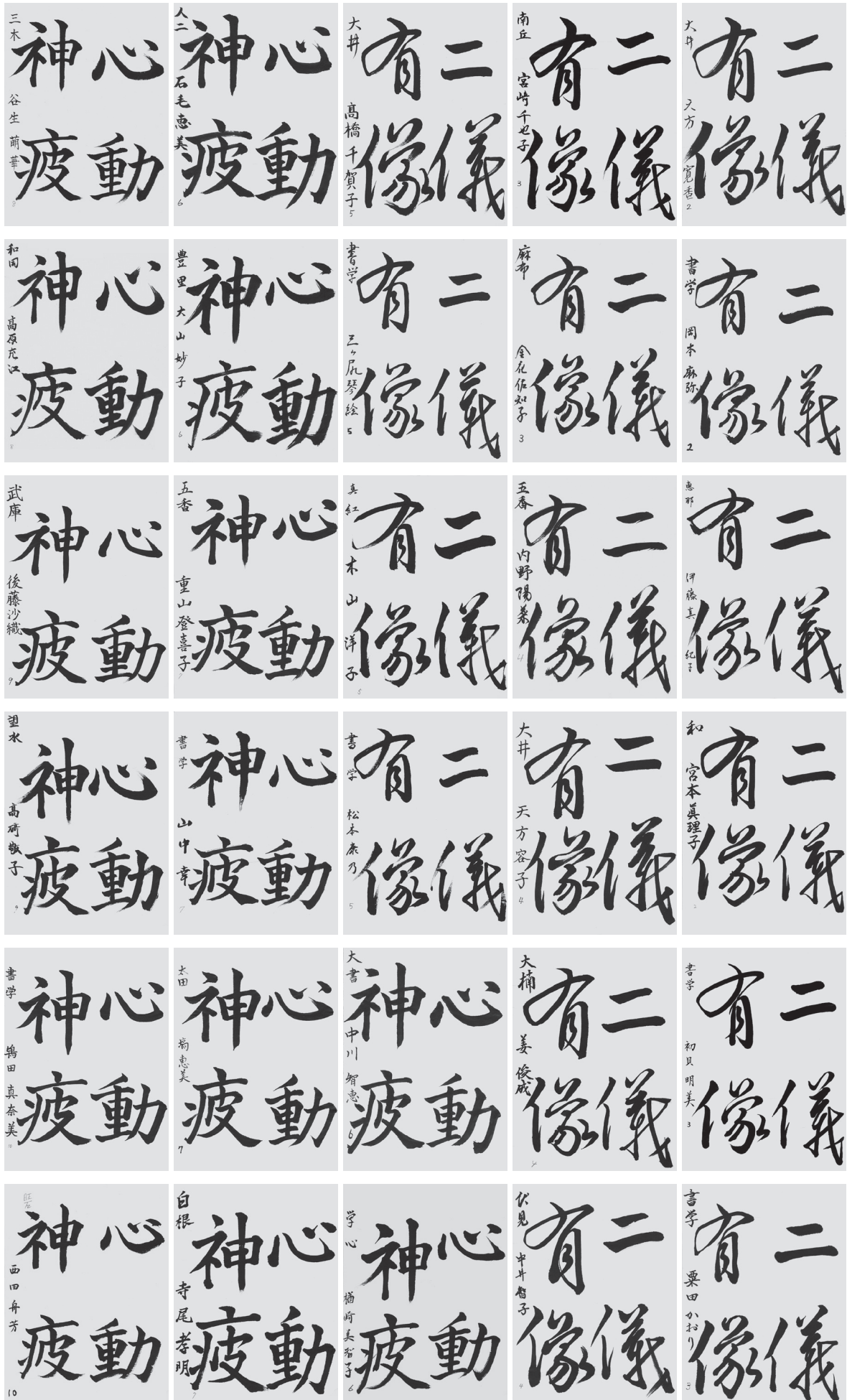
水並白
於雪
書學 六段 尾崎 裕仁

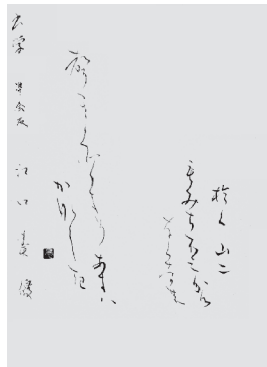
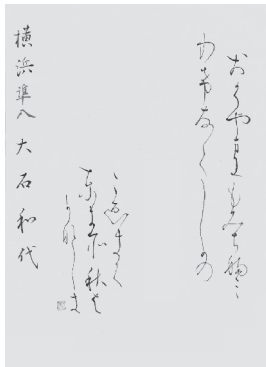
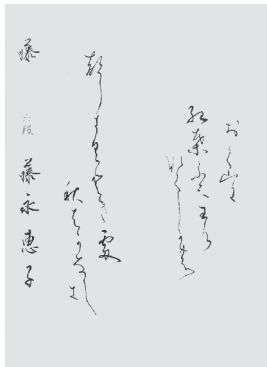
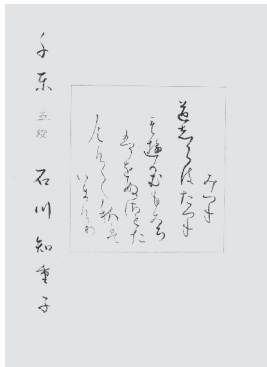
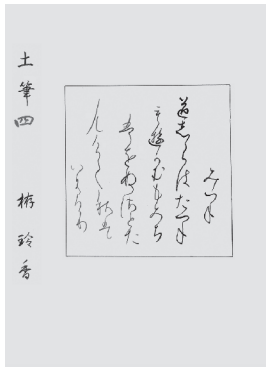
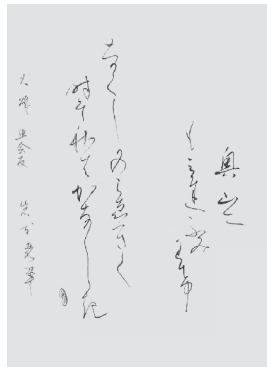
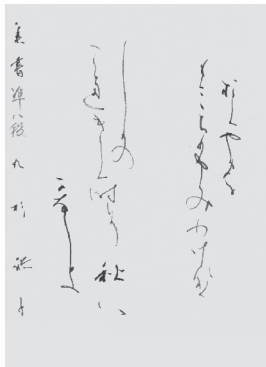
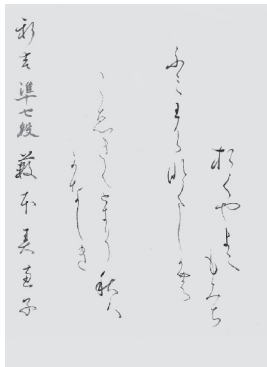
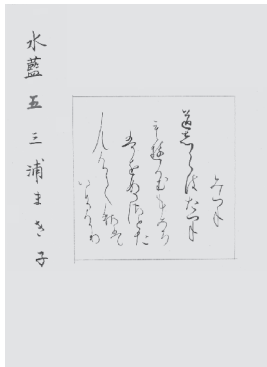
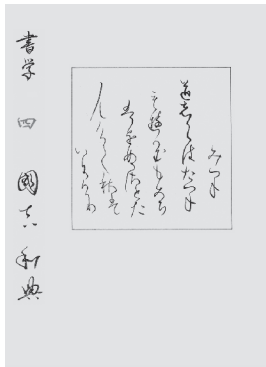
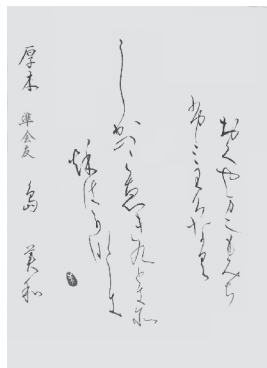
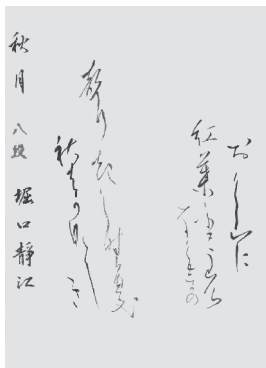
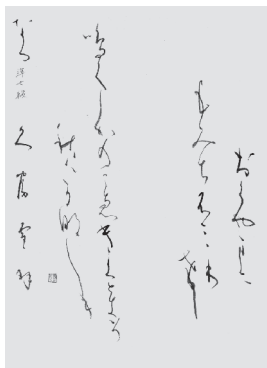
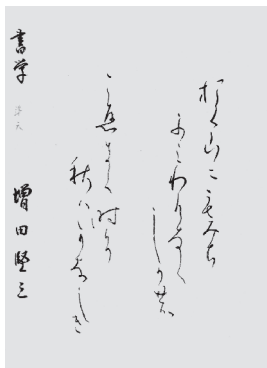
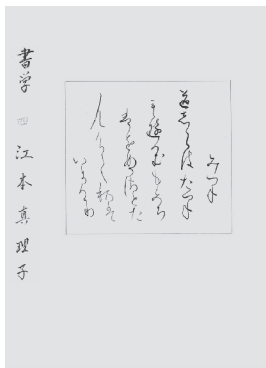
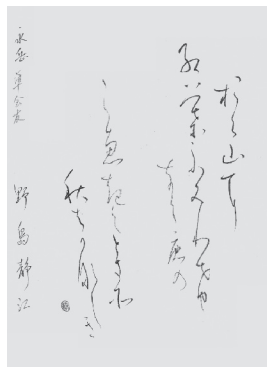
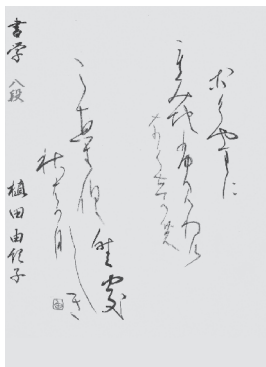
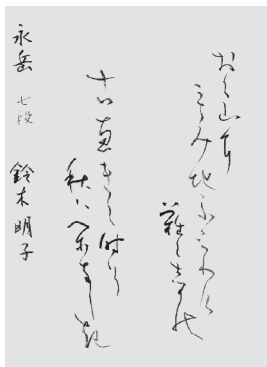
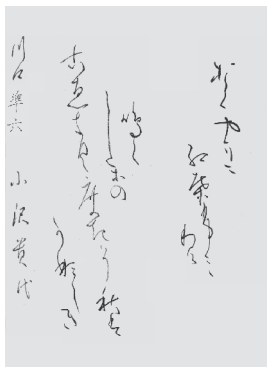
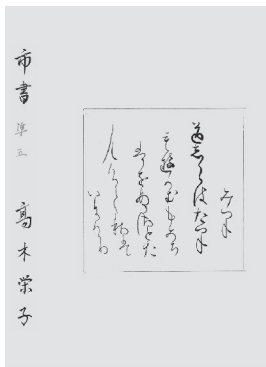
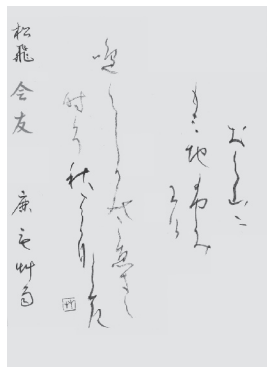
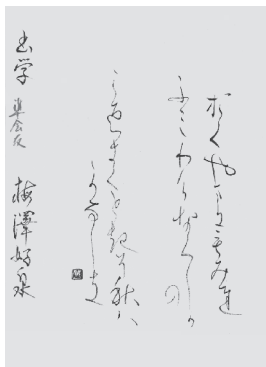
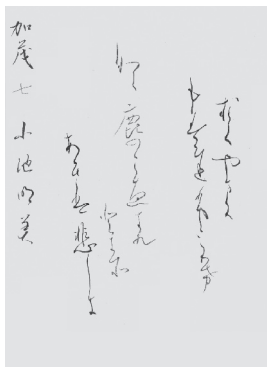
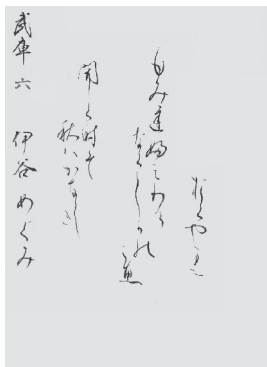
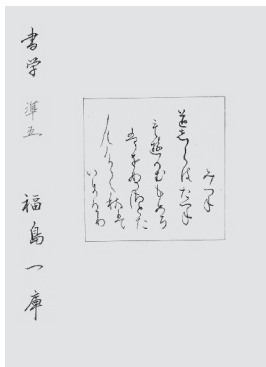
水並白
於雪
書學 廣 本 萌香

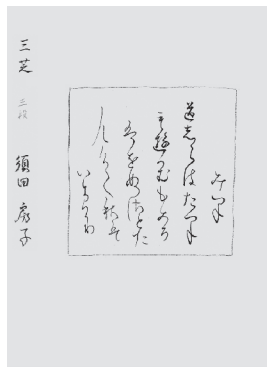
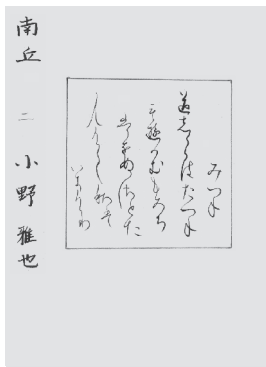
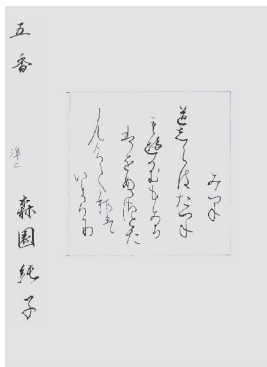
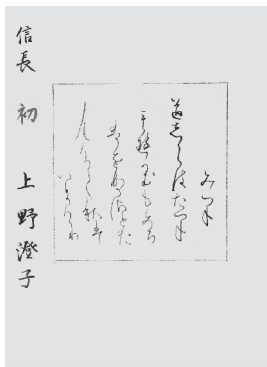
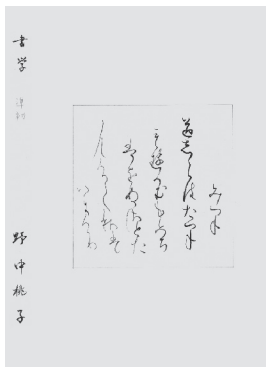
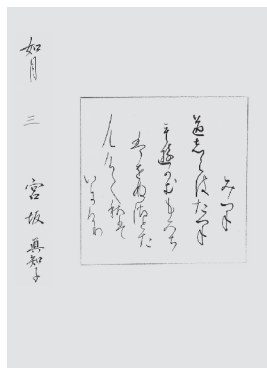
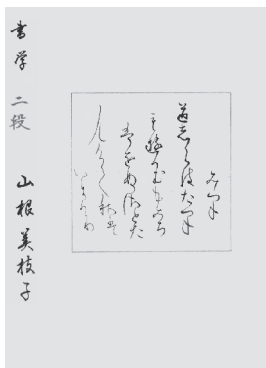
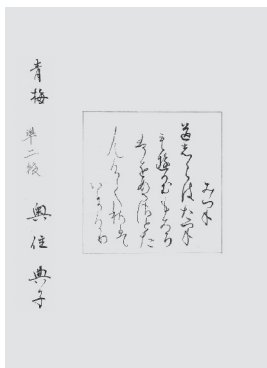
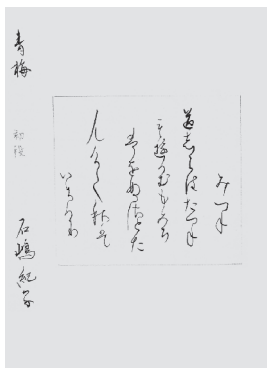
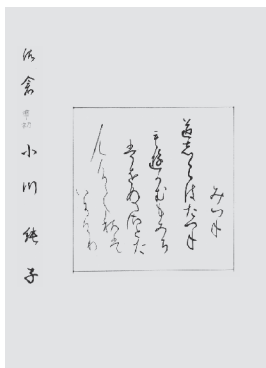
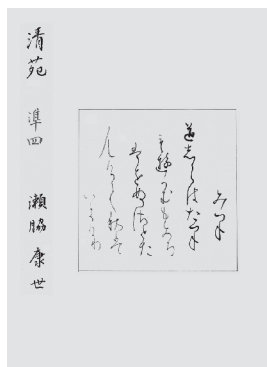
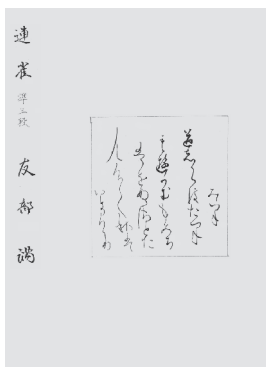
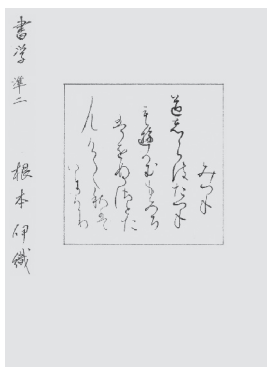
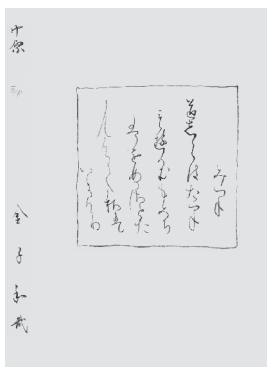
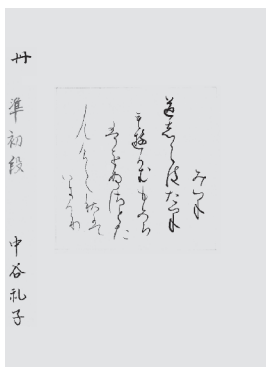
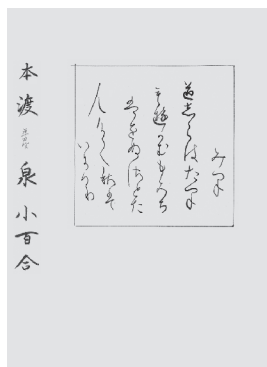
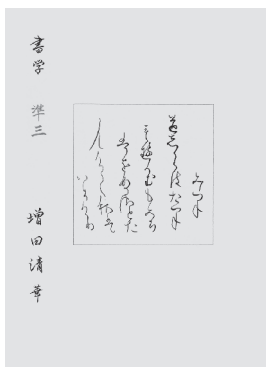
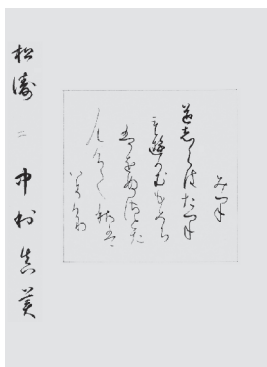
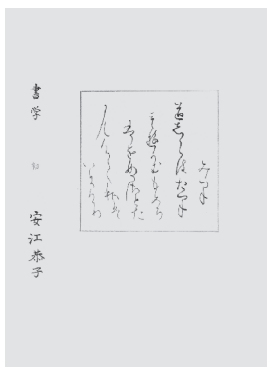
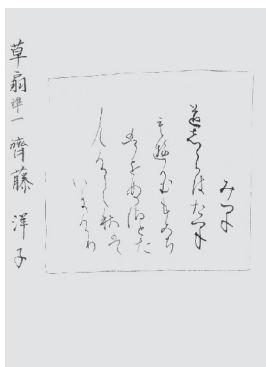
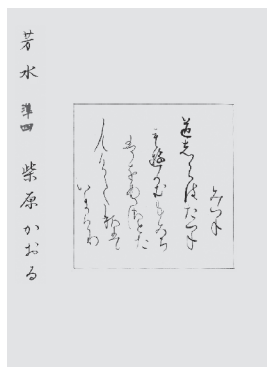
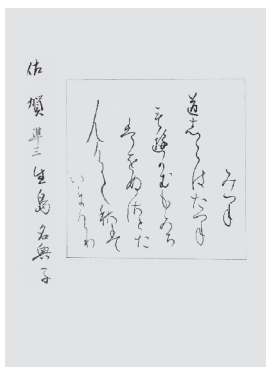
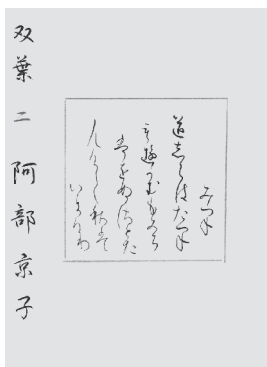
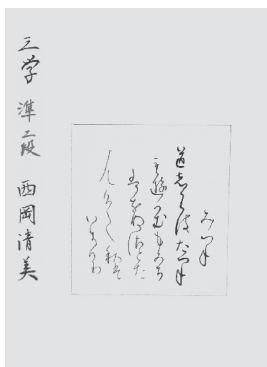
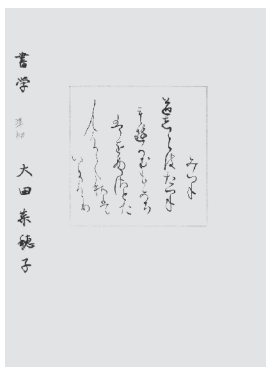
水並白
於雪
大門 八段 瀬波 佳代

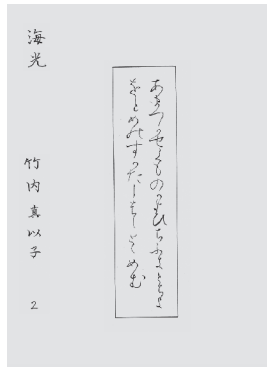
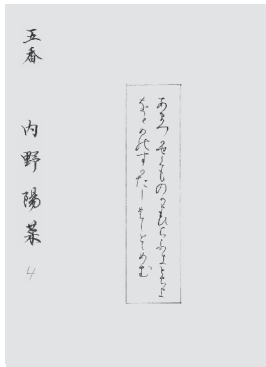
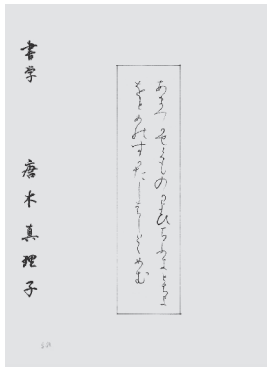
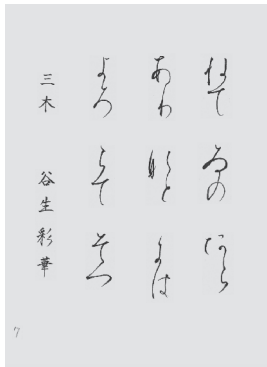
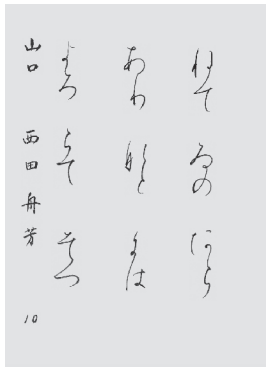
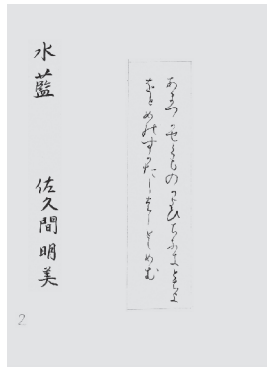
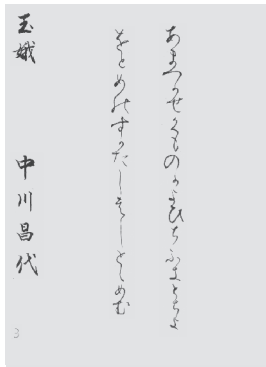
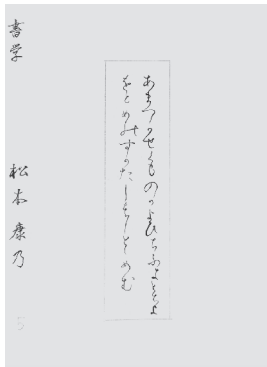
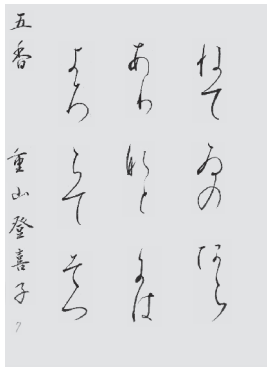
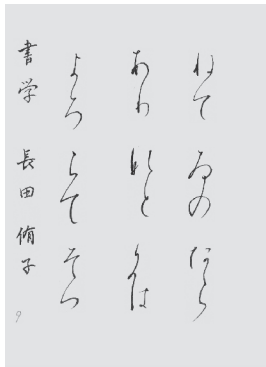
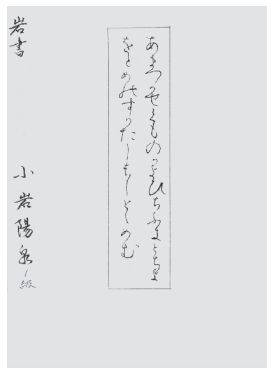
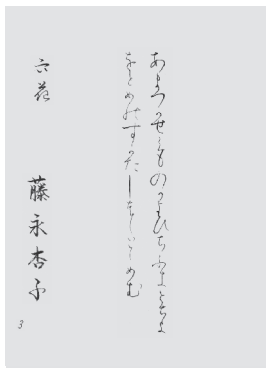
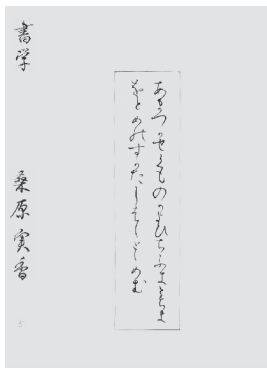
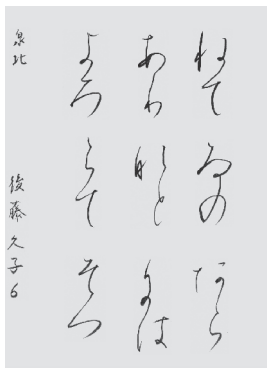
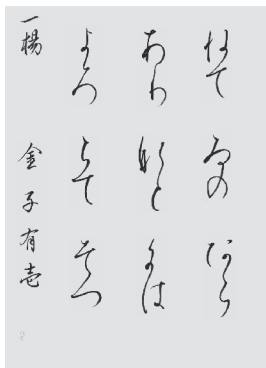
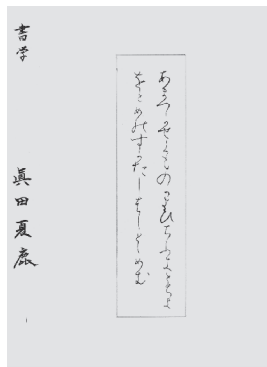
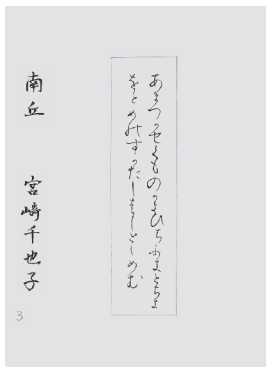
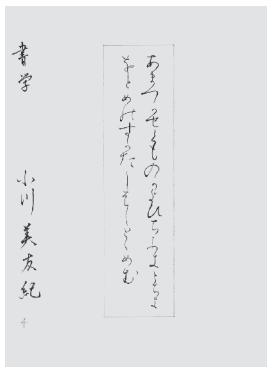
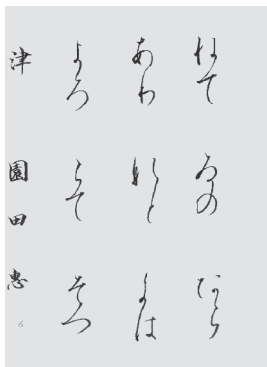
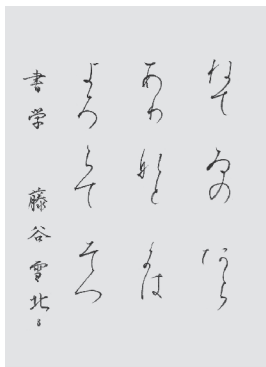
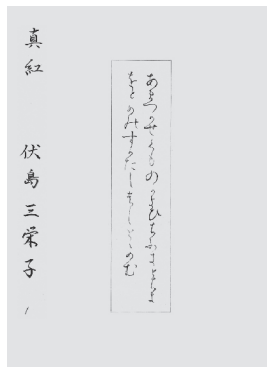
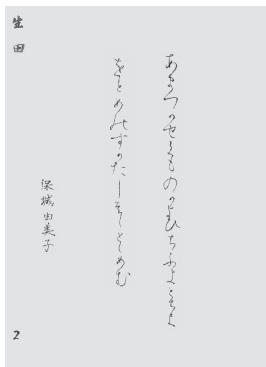
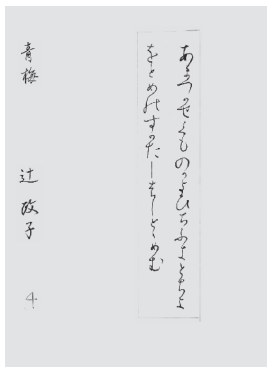
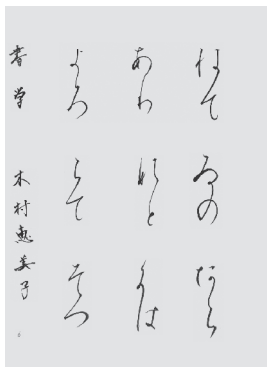
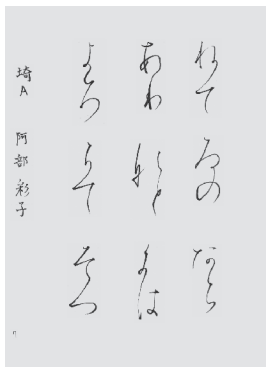
水並白
於雪
加茂 五段 新 蘇翠 花











大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
いらい 会友 神原由起子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
主筆 澤金友 井上 深洲

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
愛山 八 加藤 英水

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
大東 七 上尾 光寛

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
書学 六段 野手 都子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
神子 会友 吉田 紅彦

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
主筆 澤金友 吉橋 英水

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
仙水 八段 川口 凍々

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
入木 澤七 川上 美紀子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
川口 六段 偏方 深洲

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
豊里 会友 中島 香由

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
伊賀 八 武 林陽子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
佐竹 澤八 南 玄 真悦

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
書学 澤七 大野 真理子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
書学 澤六段 田村 紫王子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
龍門 八段 中島 友子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
永星 八段 大島 絹子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
主筆 七段 土肥 敦子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
志水 七段 大倉 秀子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
川書 澤六段 天內 春江

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
湘花 澤金友 阿部 のりこ

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
滋山 八 牧岡 牧子

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
姫春 七 中村 楓香

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
永岳 六 永田 千夏

大いなる斜面に
秋の目を受け
男體山の夕ぐれに立つ
八段 澤六 大花 音希

生命を大切に
時間をも
大切に
小諸 五 藤原省三

生命を大切に
時間をも
大切に
糸島 四 櫻井多恵

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 三 佐野和代

生命を大切に
時間をも
大切に
三花 二 藤原美佳

生命を大切に
時間をも
大切に
箱根 川原美智代

生命を大切に
時間をも
大切に
永兵 五 落合富子

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 四 海老名恵子

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 二 竹谷梓子

生命を大切に
時間をも
大切に
楷書 二 神田富子

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 初 加藤恵美子

生命を大切に
時間をも
大切に
紅藍 五 飯泉香織

生命を大切に
時間をも
大切に
成 四 久保寺香梨

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 三 松田雅美

生命を大切に
時間をも
大切に
RU ニアレクサンドラ

生命を大切に
時間をも
大切に
柳 池田里子

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 五 宗像陽子

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 五 増田登三

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 三 川村三彩子

生命を大切に
時間をも
大切に
楷書 二 岡本恵泉

生命を大切に
時間をも
大切に
文化 三 宛 裕美

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 五 岡田乃生子

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 五 平山桐花

生命を大切に
時間をも
大切に
秋月 三 堀口静江

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 二 三宅有里

生命を大切に
時間をも
大切に
書学 三 津初 常任 幸江

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
セン 井上幸子 1

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
桔星 金澤華愷 2級

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
MM 鈴木絵津子 4

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
永岳 中島裕子 6

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
書学 長曾真紅 8

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
追浜 平田智世 1

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
恵那 伊藤真紀子

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
大楠 矢口あかり

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
青空 高橋恵美子 6

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
書学 小金輝彦 8

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
静東 近藤敏子 1級

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
永岳 山内とみ江 3

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
書学 西村直子 5

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
豊里 大山妙子 6

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
書学 林公美 9

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
書学 須賀純子

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
メグ 丸山早苗 3

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
日報 嶋岡淳子

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
きし 岩田八重子 7

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
望水 高野秋子 7

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
書学 眞田夏蔵 2

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
春水 山本美穂子 4

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
うみ 今村圭子 5

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
川口 養田和子 7級

露ふかー
日の出る山も
没る嶺も
りふ 荒井泉 10

斜日低山片月高睡
餘行藥繞江郊

九書 長谷川裕美

書学 久間砂登美

斜日低山片月高睡
餘行藥繞江郊

書学 松村 邦子

斜日低山片月高睡
餘行藥繞江郊

書学 阪野なつ子

鴻雁不堪愁裏聽雲
山況是客中過

新渴 坂井 光華

鴻雁不堪愁裏聽雲
山況是客中過

書学 加藤 詩遥

海上碧雲斷

品濃 藤井 美帆

海上碧雲斷

美帆

斜日低山片月高睡
餘行藥繞江郊

新幸 関 栄泉

唐扇 原田 清美

斜日低山片月高睡
餘行藥繞江郊

杏花 柳澤由美子

斜日低山片月高睡
餘行藥繞江郊

書学 小形久美子

鴻雁不堪愁裏聽雲
山況是客中過

書学 松田 雅美

鴻雁不堪愁裏聽雲
山況是客中過

友和 安次富 都

海上碧雲斷

青井 藤尾 益美

海上碧雲斷

益美

斜日低山片月高睡
餘行藥繞江郊

泉花 丸山 泉花

九書 山崎美須子

斜日低山片月高睡
餘行藥繞江郊

姫春 中村 楓香

斜日低山片月高睡
餘行藥繞江郊

長秋 三浦 邑香

鴻雁不堪愁裏聽雲
山況是客中過

書学 小泉しのぶ

鴻雁不堪愁裏聽雲
山況是客中過

香竹 三宅 有里

海上碧雲斷

若葉 北畠 楓

海上碧雲斷

楓

木月 荒 恭子

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

竹 鈴木 竹苑

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

永岳 永田 千夏

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

小絹 小畑 知子

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

書学 大野真理子

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

淀川 酒井 芳月

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

羊 渡邊 碧海

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

欣書 重城 佳春

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

永岳 石井 陽

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

新書 本間 美子

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

和同 青木 千絵

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

書学 佐野 和代

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

松原 矢野 瞳

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

書学 甕 奈美子

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

若竹 柴 真基子

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

水峯 布川裕美子

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

祥瑞 萩原 奈々

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

兵庫 谷垣 昌代

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

永岳 二木 操

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

書学 加藤 詩遥

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

水峯 山本美紀子

くまのけしきも河筋もわたり
山の木々も色づきぬ

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

新幸 関 栄泉

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

紅芝 磯崎あゆみ

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

志水 大倉 秀子

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

書学 海老原麗子

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

書学 佐野 和代

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

悟星 神田 富繪

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

加茂 石黒 純子

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

市書 森 留美

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

小絹 小畑 知子

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

生山 岸田 弘水

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

書学 海老名恵美子

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

調布 加藤 志保

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

仙水 天舛久美子

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

加古 松井 一静

山脈の低くなりつ狭間なる
こゝを嵐はとほり過ぎたり

小諸 篠原 智巨

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

書学 加藤 晴美

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

東西 村澤 澄子

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

市川 椎名 友美

鐘の音にもみぢなぼるる山寺の
折戸さびしくゆふ日さすなり

教習名	九世
氏名	山崎 美須子

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	金子
氏名	武田 靖子

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	鷹番
氏名	中川 由美子

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	建中
氏名	渡邊 翠月

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	天草
氏名	新 幾子

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	ぬま
氏名	斎藤 和青

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	八雲
氏名	後藤 佐代子

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	湘花
氏名	阿部 のりこ

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	若葉
氏名	北島 楓

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	仙北
氏名	田口 裕子

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	和
氏名	高橋 和泉

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

教習名	書学
氏名	高橋 百合子

昨日は突然お邪魔をいたしまして
いろいろとおもてなすにあずかり誠に
ありがとうございます

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中无色无受想行識无眼耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无

書学 川窪 雪子

品時八萬四千人遠塵離垢於諸法中得法眼淨
妙法蓮華經普賢菩薩勸發品第二十八
尔時普賢菩薩以自在神通力威德名聞與大菩薩无量无边不可稱數從東方來所經諸國普皆震動而寶蓮華住无量百千萬億種種伎樂又與無數諸天龍夜叉乾闥婆阿脩羅迦樓羅賢那羅摩睺羅伽人非人等大眾圍繞各現威德神通之力

九書 山崎美須子

國寶法隆寺伝来細字法華經
品時八萬四千人遠塵離垢於諸法中得法眼淨
妙法蓮華經普賢菩薩勸發品第二十八
尔時普賢菩薩以自在神通力威德名聞與大菩薩无量无边不可稱數從東方來所經諸國普皆震動而寶蓮華住无量百千萬億種種伎樂又與無數諸天龍夜叉乾闥婆阿脩羅迦樓羅賢那羅摩睺羅伽人非人等大眾圍繞各現威德神通之力

佐野 千葉 悦子

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中无色无受想行識无眼耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无

書学 福井 英登

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中无色无受想行識无眼耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无

RU K・ピクトリア

品時八萬四千人遠塵離垢於諸法中得法眼淨
妙法蓮華經普賢菩薩勸發品第二十八
尔時普賢菩薩以自在神通力威德名聞與大菩薩无量无边不可稱數從東方來所經諸國普皆震動而寶蓮華住无量百千萬億種種伎樂又與無數諸天龍夜叉乾闥婆阿脩羅迦樓羅賢那羅摩睺羅伽人非人等大眾圍繞各現威德神通之力

九書 長谷川裕美

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中无色无受想行識无眼耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无

藍 園山 桜雪

摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不異色色即是空空即是色受想行識亦復如是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨不增不減是故空中无色无受想行識无眼耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死亦无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无

書学 棚田 恵子

品時八萬四千人遠塵離垢於諸法中得法眼淨
妙法蓮華經普賢菩薩勸發品第二十八
尔時普賢菩薩以自在神通力威德名聞與大菩薩无量无边不可稱數從東方來所經諸國普皆震動而寶蓮華住无量百千萬億種種伎樂又與無數諸天龍夜叉乾闥婆阿脩羅迦樓羅賢那羅摩睺羅伽人非人等大眾圍繞各現威德神通之力

日報 鳩岡 淳子

審査評―秋山 凌雲
規定「水鏡清」



水筆 青戸佑吉

小篆ではあるが太い外郭で古鈍の風がある。文字をもう少し小さくして、余白を生かしたい。



水筆 川原 重信

勢いのある運刀で味わい深い線が出ている。起収が燕尾にならないよう注意し、撃辺等により古色も出した。



書字 金丸 洋輔

呉讓之を取材して、明るく清々しい雅趣ある作。

随意「十太」



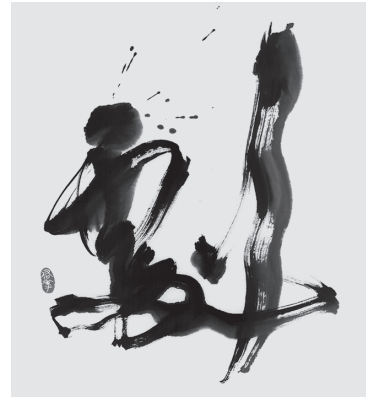
春日 曾我 卓史

命名印との款有り。刀が切れ、線も鋭い。朱白相間印としたことは章法としても効果的であるが、祝意も感じられて良い。

規定「劇」

審査評―松岡 雪華

書美の真髄を求める漢字の一字書――



水筆 青戸佑吉 流暢な連筆で行書の味わいを豊かに表現した。墨色も良く、筆圧の変化による縦画が横への広がりで見事に調和している。



水筆 廣島 好田 萩水 淡墨による滲みがふくよかで風情のある書線となり、骨力ある最終画が紙面を吹き抜けるような爽快感を与えている。



神子 吉田 紅夢 「劇」を明快に表現。潤筆で沈着した偏と旁（亅）の内側に向けた縦画により、躍動感のある作品となった。



采女 熊野 素心 伸びやかな曲線が紙面に広がり、骨力ある下部の書線が全体を引き締めた。小さくまとめた傍の練れた線が味わい深い。

随意「こ」

審査評―松岡 雪華

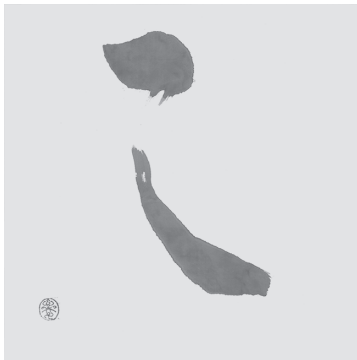
詩情や筆遣ひの極意を知る平かな表現――



水筆 平泉 千葉 方彩 「こ」の字源である「己」を深い線と軽妙な線で表現。内含の筆遣いで滋味溢れる作品となった。



横浜 高山 華月 「己」の行意を残しながら「こ」を巧みに表した。筆先をねじり込むような力強い線質が見事。



神奈 坂下 蓉水 淡墨による素直で清々しい作品。穏やかな連筆の中に適度な骨力が漲る。押印の位置に一考を。



洗心 久保 治舟 堂々とした筆力で、紙面を大きく使い躍動感ある作品となった。押印により作品がさらに安定した。